

令和5年度 年間授業計画

都立田無工科高等学校

教科・科目	工業 応用製図		単位数	2
対象学年・組	3学年機械科	教科担任	MA:井手・金澤 MB:井手・金澤	
教科書 ・ 副教材	機械製図			
1. 目標 M3A・B組の選択受講者を2班に分け、基礎製図(共通)と等角図/3次元CAD(ローテーション)のそれぞれの内容を学習させることにより幅広い知識を習得させる。				
2. 学習内容と学習上の留意点				
学期	月	単 元	指導内容・指導目標	予定時数
1 学 期	4	●等角図班・3次元CAD班: 2班に分かれて共通で、基礎製図の立体図(等角図)から投影図、投影図から立体図(等角図)、立体図を想像しながら投影図の修正、断面図(片側断面図)、補助投影図、展開図、簡単な立体の投影図などについて学習し、製図の基本技術・技能の習得をさせる。		2
	5			6
	6			8
	7			2
	1学期授業時数計			18
2 学 期	9	●等角図班・3次元CAD班: 基礎製図検定(全国工業高等学校長協会主催)を受験させ、製図の基本技術・技能の習得を確認する。		8
	10	●等角図班: ドラフターにて等角図(幅・奥行・高さの三面投影図)の基本的な図法を学習し、簡単な等角図・斜面をもつ品物の等角図・曲面をもつ品物の等角図などを作図することで、等角図の基本技術・技能の習得する。		4
	11	●3次元CAD班: CADソフト「ソリッドワークス」にて、投影図から立体図の作図を行う。整合性を持たせて3次元(幅・奥行・高さ)の三面投影図を描き、立体化させることでCADソフトの基本操作と応用操作を学習し、等角図の基本技術・技能の習得する。		6
	12	上記、2班でローテーションを行う。		2
	2学期授業時数計			20
3 学 期	1	2学期同様に等角班と3次元CAD班をローテーションする。		4
	2			
	3			
	3学期授業時数計			4
年間授業時数合計				42
3. 評価の観点・方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・提出課題の得点で学習の理解度を評価する。 ・授業態度、プリントやノートなど提出物について、授業の取り組みを評価する。 ・1、2学期は学習内容の理解度を7割、授業の取り組みを3割で成績をつける。 ・学年末は1、2学期の成績を踏まえて、総合的に4割以上で単位修得を認める。 				